

オリジナル科目



航空業界、持続的な成長を目指して～コロナ禍での経験からの学びを通して～ Airline Industry and Sustainable Growth

科目提供大学名	関西学院大学
担当教員	野村 宗訓（関西学院大学 名誉教授・福山大学 経済学部 教授）他9名
単位数	2単位
最大授業定員	40名
開講学期	前期3時限（15：30～17：00） 金曜日（4月12日～7月19日、5月3日の休日は授業を実施）
成績評価	出席状況、授業参加態度
テキスト	授業で資料を配付
参考文献	「ANA 苦闘の1000日」（2022/9 日経BP）、その他 授業で提示
授業以外の学習方法	興味を持っているテーマへの関心度を高め、WEBで検索するなど。
その他の特記事項	毎回グループでの意見交換と質疑応答時間を設け、双方向の授業とする。
講義概要	航空業界は、外部の環境変化にその経営状況が大きく左右される業界です。これまでも多くの「危機」と「機会」が繰り返し訪れる中で、工夫と知恵で成長してきました。講義の前半で航空会社の様々な業務について説明します。その後、今回の新型コロナウイルスのパンデミックで何を学び、アフターコロナでの成長、持続的な成長を目指してどのような挑戦を目指しているのかを解説し、今後の更なる展望を考えます。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 航空会社の仕事の内容を深めること。 「危機」の中でANAグループが企業として何を学び、その後の成長に向けてどう取り組んでいるか、そして企業が持続的に成長していくためには何が必要なのかの学びを通して、自分自身で考える習慣を持つこと。 自分自身の考えをベースに、多くの意見も聞き入れながら方向性を見出すことを学び、戦略的思考の発想を体得することを目標とします。
授業計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> オリエンテーション、航空業界の仕事全般 （野村 宗訓・ANA 総合研究所 阿部 信一） エアラインの仕事とホスピタリティ （ANA 総合研究所 正原 直恵） エアラインの提供するサービス（保安・安全・「定時・快適・利便の追求」） （ANA 総合研究所 安藤 正裕） 販売・予約部門の仕事 （ANA 総合研究所 深田 満仁） 国際航空貨物事業 （ANA総合研究所 濱田 実） 空港サービスⅠ（空港のグランドスタッフの仕事を理解） （ANA関西空港 深田 満仁） 空港サービスⅡ （オペレーションを支えるグランドハンドリング業務の理解） （ANA関西空港 深田 満仁）

- | |
|---|
| 8. 飛行機を飛ばす部門の仕事Ⅰ（運航乗務員）
（ANA 松尾 康平） |
| 9. 飛行機を飛ばす部門の仕事Ⅱ（客室乗務員）
（ANA総合研究所 河野 文香） |
| 10. LCC戦略
（ANA総合研究所 森 健明） |
| 11. アフターコロナの成長戦略
（コロナ禍の経営状況、非航空事業、ANA経済圏、地域創生）
（ANA総合研究所 深田 満仁） |
| 12. ANAグループの新規事業（空飛ぶ車、ドローン、アバター、NEO）
（ANA総合研究所 深田 満仁） |
| 13. エアラインのグローバル人材マネジメント戦略
（ANA総合研究所 深田 満仁） |
| 14. 空港の運営と関西3空港
（ANA総合研究所 阿部 信一） |
| 15. まとめ
（野村 宗訓・ANA総合研究所 阿部 信一） |

「航空業界、持続的な成長を目指して～コロナ禍での経験からの学びを通して～」



【代表】野村 宗訓（関西学院大学名誉教授・福山大学経済学部教授）

1. 1958年、兵庫県神戸市生まれ。「民営化と規制緩和」をキーワードに、航空・空港、鉄道・郵便、電力・水道などのネットワーク産業を調べています。主要著書（共著）：『航空グローバル化と空港ビジネス』同文館出版2010年、『新しい空港経営の可能性—LCCの求める空港とは—』関西学院大学出版会2012年、『航空競争と空港民営化 アビエーション・ビジネスの最前線』関西学院大学出版会2014年、『官民連携による交通インフラ改革』同文館出版2014年、『モビリティと地方創生』晃洋書房2021年。
2. 1980年代にイギリス・サッチャー政権で推進された「民営化」に関心を持ち、その後、欧州におけるエネルギーや交通部門の公共サービス維持方策について研究しています。NTT、JR、郵政は過去に公社でしたが、民営化後は効率性を意識する民間企業に移行しました。電気・ガスでは料金低下をPRした激しい競争が展開されています。しかし災害復旧や感染症以降のサービス維持を実現する上で、政府・自治体と民間企業のパートナーシップが不可欠です。実態把握を通して、地方創生の解決策を学びます。
3. エアラインの最前線で仕事をしてきた専門家が講義を担当します。これまでの航空業界が直面してきた「危機」をどのように克服し、その後の成長に向けてどう取り組んできたのか、そして企業が持続的に成長していくためには何が必要なのかという観点から講義を進め、自ら考える習慣を養います。自分の考えをベースに、周りの意見も聞き入れながら方向性を見出すことを学び、戦略的思考の発想を体得します。新型コロナウイルスで大打撃を被っている航空・鉄道のほか、物流や観光の新たな需要発掘を探ると同時に、アプリとつながったバスやタクシー、次世代の乗り物として期待されているドローンや宇宙船の導入から地方創生の可能性についても考えます。
4. わが国は人口減少と新型コロナウイルスに直面し、経済発展の鈍化が危惧されています。航空・空港、鉄道・バスなどのモビリティの重要性に加えて、ツーリズムやロジスティクスに関する最近の動向や他国との比較考察から、地方創生に寄与できる視点を身につけてください。専門的な知識を学びながら、広い視野から就職活動を展開する意識を持つことが重要だと思います。